

につせい農事にゅーす

(第 4 6 0 回)

日星コーポレーション株式会社

アグロ部 (054-263-2860)

病虫害防除所の 4 月発生予察情報によると、温州みかんでそうか病がやや多、ミカンハダニが東部地域で多、かんきつ全般でかいよう病が多、果樹全般で果樹カメムシ類が多、茶でチャハマキ、チャノコカクモンハマキが多、トマトでコナジラミ類がやや多、いちごで炭疽病、ハダニ類が多、うどんこ病、アブラムシ類がやや多、の予報が出ています。また 3 月 28 日には、昨年多発生した果樹カメムシ類の越冬量が多いことなどから本虫に対する発生予察注意報が発表されました。4 月は気温が平年並から高いと予想されているため、病虫害の発生が平年に比べ早まるとともに、発生の急激な拡大が懸念されます。作物の生育状況をよく観察して、病虫害の発生が見られたら早めに防除を行いましょう。

今月の技術資料は、令和 6 年の病虫害診断結果を掲載しました。年間の診断件数は 109 件で前年より 15 件増加しました。作目別では、野菜類が 51 件と全体の 47%を占め、作物数は 27 種類でイチゴ、サツマイモなどの依頼数が多かったです。次いで果樹類が 25 件で 23%、花き類が 16 件で 14%でした。一方、水稻やチャの診断依頼は 10%以下でした。被害の原因としては、病害が 51%で最も多く、虫害は 30%と病害の約 6 割でした。

令和 7 年 3 月 25 日

気象予報 ‘25-4

東海地方 3 か月気象予報

名古屋地方気象台

- この期間の平均気温は、平年並または高い確率 40%、降水量は、平年より多い確率が 40%です。
- 月別の予報
 - 4 月：天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。気温は、平年より高い確率 40%です。
 - 5 月：天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。気温は、平年より高い確率 40%です。
 - 6 月：平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。気温は、平年より高い確率が 50%です。
- 気温・降水量の各段階の確率 (%)

予報の 区分	気温			降水量		
	低い	平年並	高い	少ない	平年並	多い
3 か 月	20	40	40	30	30	40
4 月	30	30	40	40	30	30
5 月	30	30	40	30	40	30
6 月	20	30	50	30	30	40

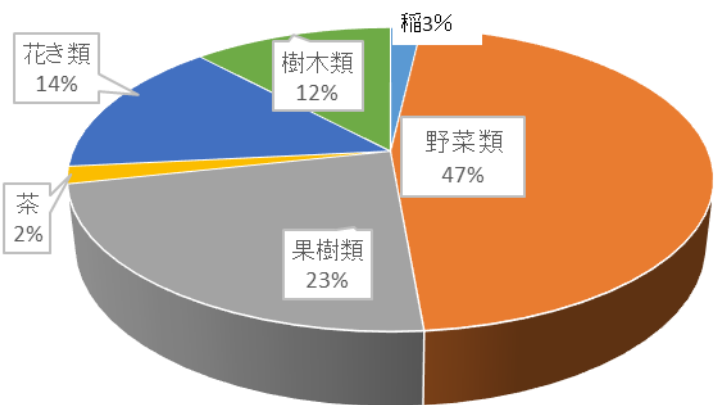
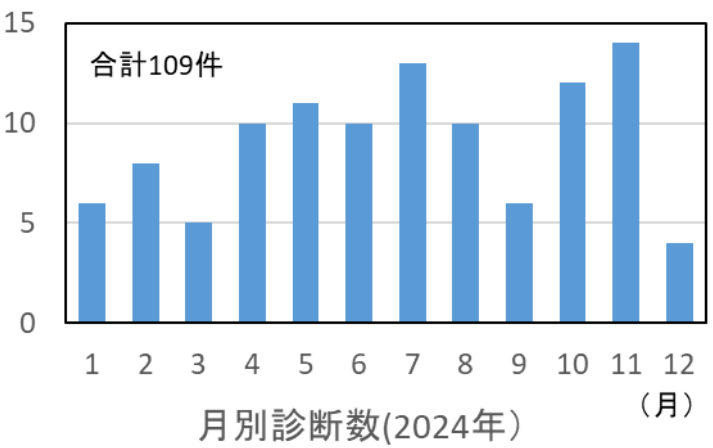
病虫害発生予察情報(4月予報)

令和 7 年 3 月 25 日
静岡県病虫害防除所長

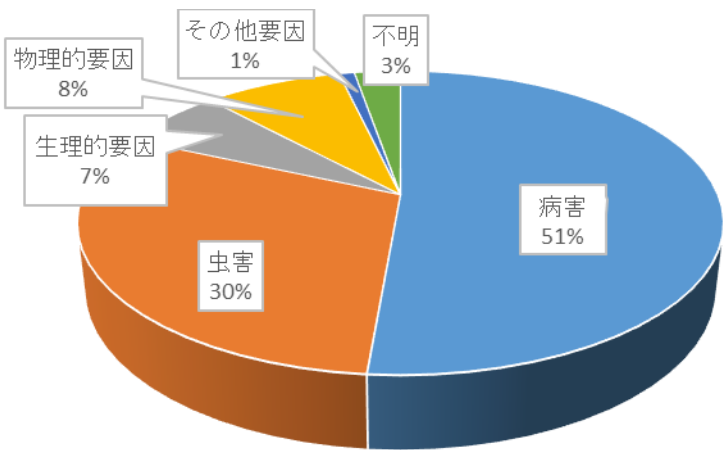
1 予報概況

作物名	病虫害名	予 報 (4月の県平均平年値)	予 報 の 根 拠
温州 みかん	そうか病	発生量(やや多)	3月上中旬発生量:並 (±) 気象予報 :気 温 :並か高い (＋) 降水量:ほぼ平年並 (±)
	ミカンハダニ	発生量:並 (寄生葉率 7.0%) ただし、東部地域(多)	3月上中旬発生量:やや少 (－) ただし、東部地域:やや多(＋) 気象予報 :気 温 :並か高い (＋) 降水量:ほぼ平年並 (±)
かんきつ	かいよう病	発生量(中晩柑):多 (中晩柑発病度(葉)0.70) 発生量(温州みかん):多 (温州みかん発病度(葉)0.28)	3月上中旬発生量 (中晩柑):多 (＋) (温州みかん):多 (＋) 気象予報 :気 温 :並か高い (＋) 降水量:ほぼ平年並 (±)
果樹全般	果樹カメムシ類	発生量:(多)	昨年予察灯誘殺数 :多 (＋) 昨年フェロモントラップ誘殺数:多 (＋) 越冬虫数 :多 (＋) 気象予報 :気 温 :並か高い (＋)
茶	カンザワハダニ	発生量:並 (摘採面寄生葉率2.6%)	3月上中旬発生量:並 (±) 気象予報 :気 温 :並か高い (±) 降水量: ほぼ平年並 (±)
	チャハマキ	発生量(多) (幼虫数0.07頭/1.25㎡)	3月上中旬発生量:多 (＋) 気象予報 :気 温 :並か高い(＋) 降水量: ほぼ平年並 (±)
	チャノコカクモン ハマキ	発生量(多) (幼虫数0.1頭/1.25㎡)	3月上中旬発生量:多 (＋) 気象予報 :気 温 :並か高い(＋) 降水量: ほぼ平年並 (±)
トマト	灰色かび病	発生量:やや少	3月中旬発生量:やや少 (－) 気象予報 :気 温 :並か高い (＋) 降水量: ほぼ平年並 (±)
	葉かび病・ すすかび病	発生量:やや少	3月中旬発生量:やや少 (－) 気象予報 :気 温 :並か高い (＋) 降水量: ほぼ平年並 (±)
	黄化葉巻病	発生量:やや少	3月中旬発生量:少 (－) コナジラミ類発生量:並 (±) 気象予報: 気 温 : 並か高い(＋)
	コナジラミ類	発生量:(やや多)	3月中旬発生量:並 (±) 気象予報: 気 温 : 並か高い(＋)
いちご	灰色かび病	発生量:やや少	3月中旬発生量:少 (－) 気象予報 :気 温 :並か高い (＋) 降水量:ほぼ平年並 (±)
	うどんこ病	発生量(やや多)	3月中旬発生量:並 (±) 気象予報:気 温:並か高い (＋)
	炭疽病	発生量(多)	3月中旬発生量:やや多 (＋) 気象予報:気 温:並か高い (＋)
	アザミウマ類	発生量:やや少 ただし、中遠地域(やや多)	3月中旬発生量:少 (－) ただし、中遠地域:並 (±) 気象予報:気 温:並か高い (＋)
	ハダニ類	発生量(多)	3月中旬発生量:多 (＋) 気象予報:気 温:並か高い (＋)
	アブラムシ類	発生量(やや多) ただし、中部地域:多	3月中旬発生量:並 (±) ただし、中部地域:やや多 (＋) 気象予報:気 温:並か高い (＋)

令和 6 年病虫害診断結果



作物別診断数



原因別診断数

令和6年作物別診断結果(野菜類)

作物名	病害虫名(件数)				
アシタバ	疫病				
イチゴ	炭疽病(3)	アザミウマ	疫病	黒色根腐病	角斑細菌病
エダマメ	物理的な傷(2)	原因不明			
エリザベスメロン	接ぎ木異常				
エンドウ	灰色かび病				
かぼちゃ	日焼け他生理的な原因				
キャベツ	黒斑病	腐敗病	黒腐病		
キュウリ	炭疽病				
コマツナ	原因不明				
サツマイモ	立枯病	黒あざ病	生理要害(皮目症状)	不明	
サトイモ(エビイモ)	ネグサレセンチュウ				
ジャガイモ	不明	軟腐病	線虫と粉状そうか病		
ショウガ	葉枯病				
シロネギ	リン又はマグネシウム欠乏	萎凋病	白絹病		
ダイコン	地上徘徊性昆虫				
トウガラシ発芽苗	チョウ目幼虫の食害				
トマト	褐斑細菌病	生理障害	ネコブセンチュウ		
ナス	青枯れ病				
ニンジン	ネコブセンチュウ	根腐病	しみ腐病		
ハクサイ	黒腐病、軟腐病	軟腐病			
パセリ	軟腐病				
畑わさび	コナカイガラムシ幼虫	輪腐病	輪腐病又は軟腐病		
ブロッコリー	花蕾腐敗病				
ミニトマト	ネコブセンチュウ				
ヤマイモ	ビシウム腐敗病	根腐病			
落花生	黒渋病	ヒョウタンゾウムシ幼虫			
リーフレタス	ミカンキイロアザミウマ				

令和6年作物別診断結果(作物、茶、果樹類)

作物名	病害虫名(件数)				
イネ	コブメイガ、疑似紋枯症				
チャ	チュウゴクアミガサハゴロモ?				
カキ	カキサビダニ、果面障害				
カンキツ	ミカンサビダニ(2)				
ミカン	ナシシロナガカイガラ	チャノキ、黒点、小黒点、サビダニ他	ミカンキイロアザミウマ	チャノホコリダニ	薬害(2)
ハッサク	黒点病				
レモン	ミカンサビダニ				
ナシ	黒星病				
ブドウ	チョウ目幼虫の糞、ハダニ被害	白紋羽病			
マンゴー	炭疽病				

令和6年作物別診断結果(花き類、樹木類)

作物名	病害虫名(件数)		作物名	病害虫名(件数)	
ガーベラ	葉焼け		サクラ	葉:せん孔褐斑病	枝:コスカシバ
スイトピー	生理障害		シキミ	紋々病 他	クダマキモドキ産卵痕
コケ	クモノスカビ		マツ	すす葉枯病	マツノザイセンチュウ
キク	紋々病(キクモンサビダニ)	原因不明	マツ(アカ)	そうほう病	
カーネーション	斑点病				
ニチニチソウ	疫病				
バラ	オオタバコガ				
ユーチカリス(花)	フジコナカイガラムシ				
ウエストリンギア	白絹病				

今月の防除（令和7年 4 月）

作物	時期	対象病害虫	使用薬剤	使用法	使用基準	備 考
チャ	上～下 (萌芽 ～ 開葉)	コミカンアブラムシ ツマグロアオカス ミカメ カンザワハダニ (右のいずれか)	アルバリン顆粒水溶剤 又はダントツ水溶剤 アルバリン顆粒水溶剤 又はキラップフロアブル スターマイトフロアブル カネマイトフロアブル マイトコーネフロアブル	2,000倍 2,000倍 2,000倍 2,000倍 2,000倍 1,000倍 1,000倍	7日-2 7日-1 7日-2 7日-1 7日-1 7日-1 14日-1*	マダラカサハラハムシにはコテツフロアブル(2,000倍)、ダントツ水溶剤(2,000倍)、アクタラ顆粒水溶剤(2,000倍)が有効。 凍霜害を受けた茶園ではハダニが増加することがあるので注意する。 *マイトコーネは、遮光栽培では遮光開始14日前まで。
温州 ミカン	上～下	ミカンハダニ カイガラムシ類 そうか病	ハーベストオイル 又はスプレーオイル アプロードフロアブル フロンサイドSC	100倍 100倍 1,000倍 2,000倍	--- --- 14日-3 30日-1	3月にマシン油を散布しなかった園では4月に散布する。
イネ	育苗用土への薬剤混和					
	は種前	苗立枯病対象に 床土混和	ダコニール粉剤 又は タチガレエースM粉剤	箱当たり "	15～20g 6～8g	ダコニールは、リゾプス菌による苗立枯病に タチガレエースはピシウム菌、フザリウム菌による 苗立枯病に有効
	は種時	苗立枯病対象に 育苗箱床土灌注	ダコニール1000 又は タチガレエースM液剤	500～ 1000倍 1000倍	は種時～ 緑化期 は種時又 は発芽後	500倍液は育苗箱当たり500mlを1000倍 液は育苗箱当り1Lを土壤灌注する
イチゴ	上～下	うどんこ病 灰色かび病 ハダニ類 アザミウマ類 アブラムシ類	モレスタン水和剤 セイビアーフロアブル20 マイトコーネフロアブル ディアナSC チェス顆粒水和剤	3,000倍 1,000倍 1,000倍 2,500倍 5,000倍	前日-2 前日-3 前日-2 前日-2 前日-3	バチスター水和剤(微生物殺菌剤)も可。 スターマイトフロアブル2000倍も可。 ミツバチには影響がない。
トマト	上～下	灰色かび病 葉かび病 ハモグリバエ類 コナジラミ類	ゲッター水和剤 シグナムWDG スコア顆粒水和剤 ベネビアOD ベネビアOD	1,000倍 2,000倍 2,000倍 2,000倍 2,000倍	前日-5 前日-2 前日-3 前日-3 前日-3	バチスター水和剤(微生物殺菌剤)も可。 バチスター水和剤(微生物殺菌剤)も可。 タバココナジラミは黄化葉巻病を媒介する。
パレイ ショ	下	疫病	コサイド3000 ジマンダイセン水和剤	1,000倍 400～ 600倍	--- 7日-10	ランマンフロアブル1000倍(7日-4)や ライメイフロアブル2000倍(7日-4)も 可。